

DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査

～関西への訪問意欲は引き続き高く、コロナ収束後に向けて新たな旅行ニーズへの対応が求められる～

2022年4月

 **DBJ** 株式会社日本政策投資銀行

関西支店 企画調査課

目次

1

はじめに

- | | | | |
|---|-----------------|-------|------|
| 1 | 調査概要 | | P. 6 |
| 2 | サマリー | | P. 7 |
| 3 | 回答者の属性 ①全体 | | P. 8 |
| 3 | 回答者の属性 ②関西訪問希望者 | | P. 9 |

2

新型コロナ前後の関西観光統計

- | | | | |
|---|------------------|-------|-------|
| 1 | 外国人旅行者数と観光消費額の推移 | | P. 11 |
| 2 | 関西地域の外国人宿泊者数の推移 | | P. 12 |
| 3 | 新型コロナ前後の関西宿泊者数 | | P. 13 |

目次

3

アンケート調査結果

1	新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外観光旅行をしたいと思いますか	回答者全体		P. 15
2	海外観光旅行をしたいと思う理由	関西訪問希望者		P. 16
3	海外観光旅行の検討を再開するタイミング	関西訪問希望者		P. 17
4	①観光旅行したい国・地域 ②行ってみたい観光地 ③行ったことがある観光地	回答者全体		P. 18
5	訪日観光を希望する理由	関西訪問希望者		P. 19
6	今年、自国で実施した日本に関する活動について	関西訪問希望者		P. 20
7	今後6カ月の間に実施するであろうレジャー全般	関西訪問希望者		P. 21
8	新型コロナ流行の収束後においても、海外観光旅行をしたくない理由	回答者全体		P. 22
9	予算及び滞在日数の変化	関西訪問希望者		P. 23
10	頻度の変化	関西訪問希望者		P. 24
11	訪日観光旅行における滞在日数	回答者全体 関西訪問希望者		P. 25
12	訪日観光旅行における宿泊施設	関西訪問希望者		P. 26

目次

3

アンケート調査結果

13	訪日観光旅行における宿泊費①②	関西訪問希望者		P. 27
14	訪日観光旅行における旅行形態	回答者全体 関西訪問希望者		P. 29
15	参加したオンラインツアーの良かった点・参加したツアーの価格帯	関西訪問希望者		P. 30
16	訪日観光旅行で体験したいこと、実施してみたい旅行	関西訪問希望者		P. 31

1

はじめに

- ・(株)日本政策投資銀行は、2012年度より継続的に「アジア8地域・訪日外国人旅行者の意向調査」を公表し、2015年度からは（公財）日本交通公社と共同でアジア・欧米豪の12地域の海外旅行経験者を対象にインターネットによるアンケート調査を実施している。
- ・新型コロナウイルスの感染拡大以降は、コロナ禍が今後のインバウンド旅行に与える影響を調査すべく、2020年8月および2020年12月に特別調査を実施しており、今回の調査は、その続編として2021年10月に実施した「DBJ・JTBFアジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査」に関して、主に「関西訪問希望者（P.9参照）」の回答について集計、分析したものである。全国の結果については『DBJ・JTBF アジア・欧米豪訪日外国人旅行者の意向調査（第2回新型コロナ影響度特別調査）』（2022年2月）をご参照いただきたい。

調査方法	インターネットによる調査
調査時期	2021年10月5日～19日
調査地域	韓国、中国、台湾、香港、タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア、アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランスの12地域 （注）中国は北京および上海在住者のみ（割合は北京50%：上海50%） ※アジア：韓国、中国、台湾、香港、東南アジア ※東南アジア：タイ、シンガポール、マレーシア、インドネシア ※欧米豪：アメリカ、オーストラリア、イギリス、フランス
調査対象者	20歳から59歳の男女、かつ海外旅行経験者 （注）中国-香港-マカオ間、マレーシア-シンガポール間、タイ-マレーシア間、アメリカ-カナダ・メキシコ・ハワイ・グアム間、イギリス・フランス-欧州各国間、オーストラリア・ニュージーランド間の旅行については海外旅行経験から除く
有効回答者数	上記各地域に居住する計6,294人
調査協力会社	楽天インサイト株式会社

- 今回の調査は、新型コロナウイルスの感染拡大により世界的に国を跨いだ移動が制限されることになってから約1年半が経過する中で実施。世界の12の地域の居住者6,000人以上から回答を得た。
- 海外で体験したいことがある、リラックスや癒やしを得たいといった理由を中心に、**引き続き人々の海外旅行に対する強い意欲が確認されたが、多くの回答者が海外旅行の再開には国や公的機関の安全宣言などが必要**と考えており、その時期については引き続き不透明である。
- 前回調査に引き続き、**日本は、観光旅行してみたい国・地域で1位を獲得した**。また、関西については、行ったことがある観光地、行ってみたい観光地に主要都市が上位にランクインするなど**大阪・京都を中心に強い人気**が確認された。
- 関西への訪問希望者が訪日観光を希望する理由については、過去訪問時の満足度の高さや魅力的な観光コンテンツ、食事や清潔さなどが上位に挙げられ、**リピーターを中心に関西の歴史や伝統、自然が高く評価**されていることが確認されたが、**予算面やナイトライフといった点では改善の余地**があることもわかった。
- また、割合としては小さいが、コロナ禍を経て、収入の減少やそもそも海外旅行に対する不安や関心の低下といった理由から、コロナの収束後も海外旅行を希望しないという層も確認され、**コロナ禍の長期化が人々の生活及び心理面に影響を与えている**ことがわかった。
- また、コロナ収束後の訪日旅行においては、以前よりも**予算の増加や期間の長期化**の意向が確認され、コロナ禍で溜まったストレスの発散による**リベンジ消費の可能性**や、**海外旅行の「特別感」の高まり**が伺える。
- コロナ禍のなかでも海外を体験できる**オンラインツアーの人気の高まり**も確認され、その場にいるような臨場感や、通常は見学できない場所なども見学できること、費用の安さや時間の節約等が評価されている。
- 今後、海外旅行で体験したいこととしては、アウトドアアクティビティやグランピングなど、コロナ禍を経て**密を回避した新しい旅行形態への関心が高まりつつある**ことがわかった。
- コロナ禍の収束は未だ見通せない状況ではあるが、**日本そして関西への訪問意欲は引き続き強い**なか、観光地においては歴史や伝統、美しい自然といった**既存の観光コンテンツの磨き上げ**とともに、アウトドアアクティビティやグランピングなど**コロナ禍で変化しつつある旅行者のニーズを捉える取組**や、オンラインツアーとの連携などを通じて、**リアルとオンラインの好循環につなげていく**ことが、コロナ収束後のインバウンド観光の更なる飛躍に向けて重要であろう。

1-3

回答者の属性 ①全体

- ・今回の調査では、世界の12の地域に居住する20歳から59歳までの海外旅行経験を有する男女6,294人から回答を得た。
- ・回答者の地域別の構成比は、アジアが67%、欧米豪が33%。
- ・回答者のうち約半分（47%）は訪日経験を有し、地域別には、アジアが60%、欧米豪が19%。

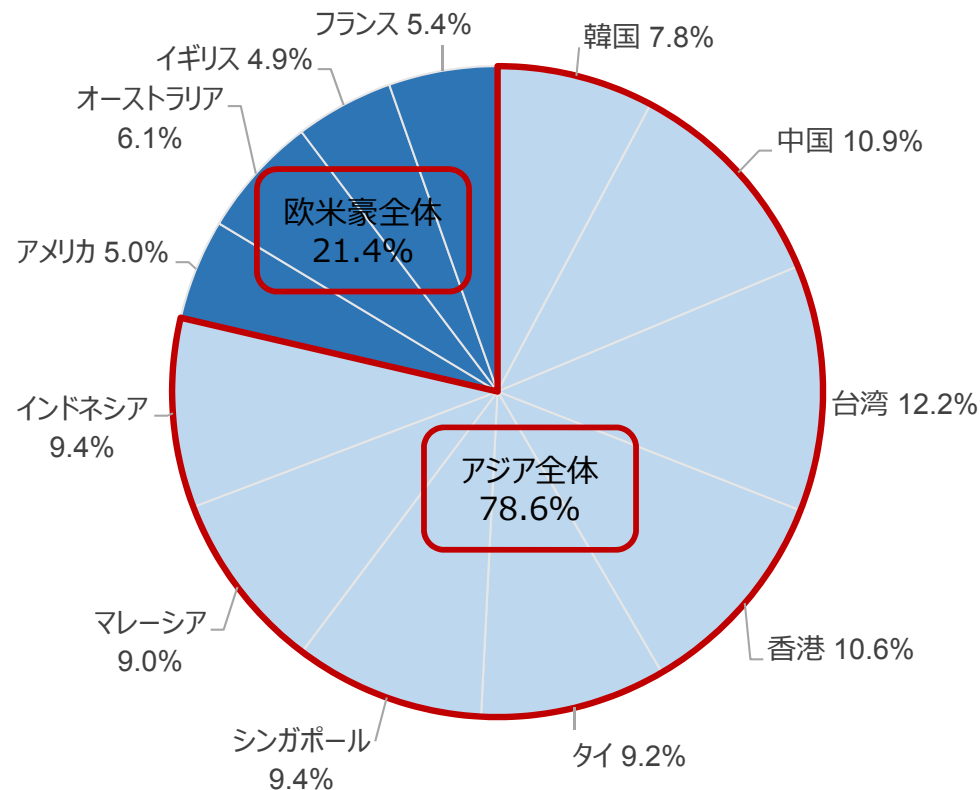
	12地域 全体	アジア 全体	東アジア	韓国	中国	台湾	香港	東南 アジア	欧米豪 全体
総数	6,294	4,189	2,122	540	541	521	520	2,067	2,105
（総数に占める割合）	100%	67%	34%	9%	9%	8%	8%	33%	33%
訪日経験なし	3,363	1,656	517	191	162	89	75	1,139	1,707
（総数に占める割合）	53%	40%	24%	35%	30%	17%	14%	55%	81%
訪日経験あり	2,931	2,533	1,605	349	379	432	445	928	398
（総数に占める割合）	47%	60%	76%	65%	70%	83%	86%	45%	19%
1回	1,105	870	456	119	169	89	79	414	235
（総数に占める割合）	18%	21%	21%	22%	31%	17%	15%	20%	11%
2回以上	1,826	1,663	1,149	230	210	343	366	514	163
（総数に占める割合）	29%	40%	54%	43%	39%	66%	70%	25%	8%

1-3

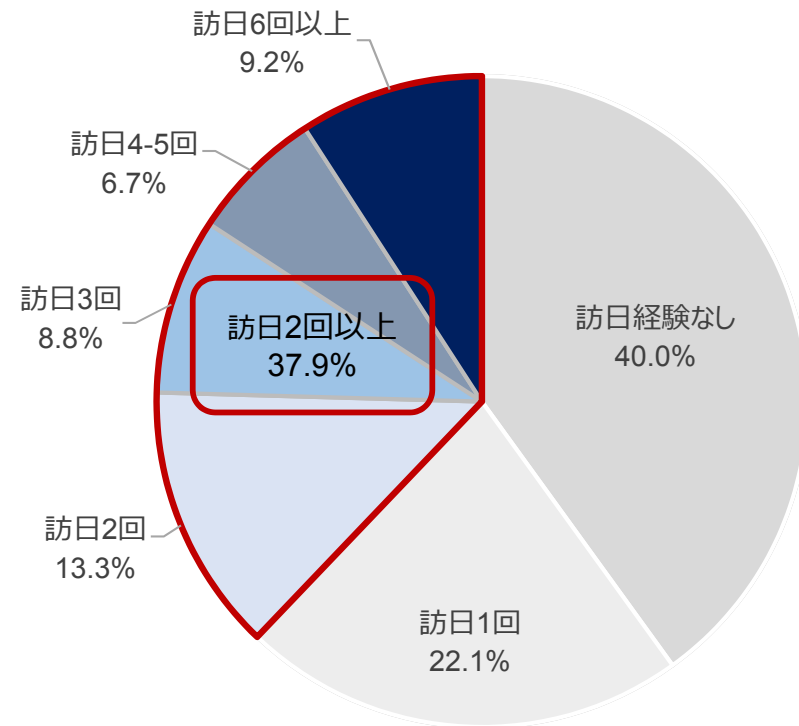
回答者の属性 ②関西訪問希望者

- ・本調査では、「あなたをご存知の観光地の中で実際に行ってみたい観光地」の設問（全国の主要観光地63箇所から選択。複数回答可）において、「紀伊半島/高野山/熊野古道」、「関西」、「京都」、「奈良」、「大阪」、「神戸」を選択した回答者（2,720人）を関西訪問希望者と定義。
- ・関西訪問希望者の地域別の構成は、約8割がアジア、約2割が欧米豪である。
- ・また、関西訪問希望者の約6割が訪日経験を有し、複数回の訪日経験を有する割合も約4割とリピーターが多いことが特徴である。

【関西訪問希望者の構成】



【関西訪問希望者の訪日経験】



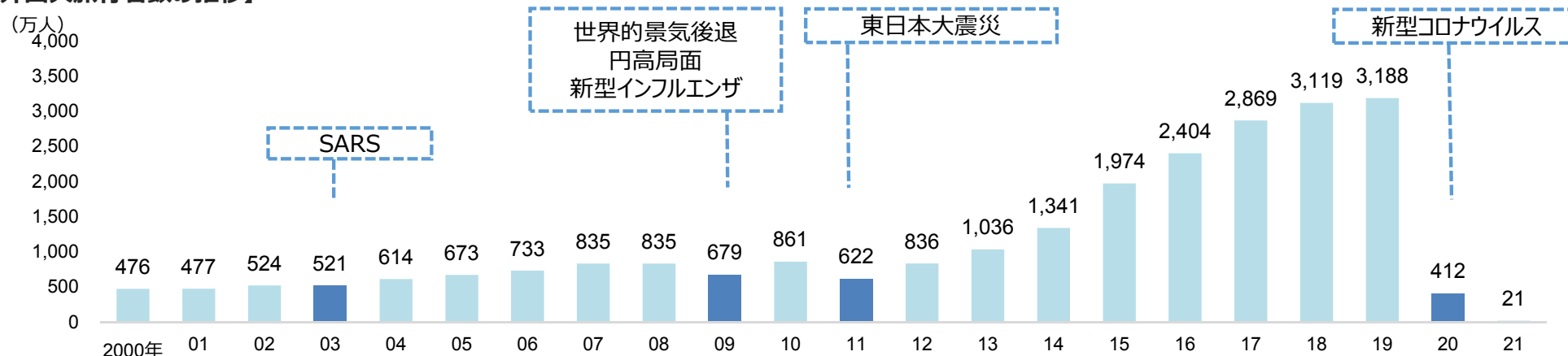
2 新型コロナ前後の関西観光統計

2-1

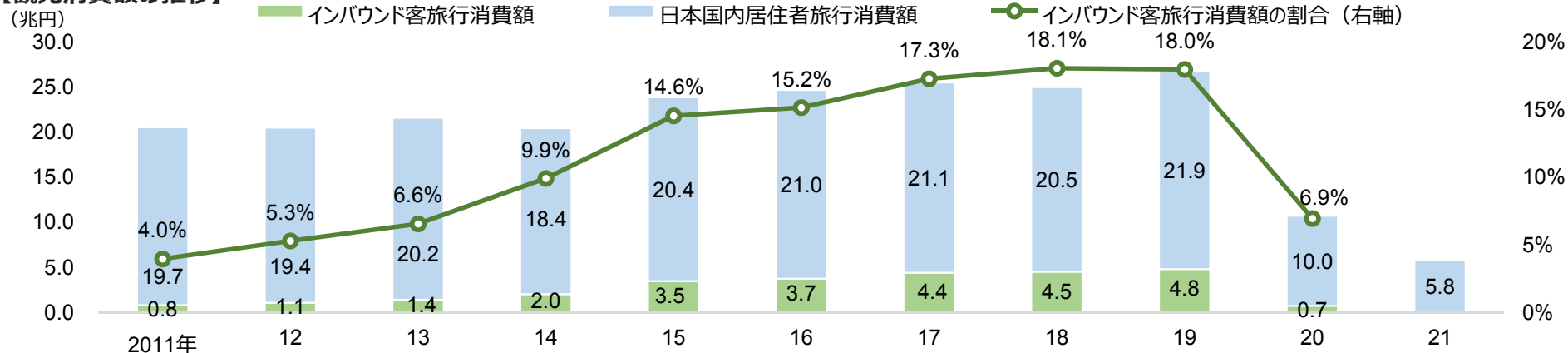
外国人旅行者数と観光消費額の推移

- ・訪日外国人旅行者数は、2003年に当時の小泉首相が2010年に1,000万人まで増やし、観光立国を目指す構想を掲げたことを契機として各種政策が推進され、リーマンショックや東日本大震災等による一時的な減少はあったものの順調に増加。特に近年はビザ発給要件の緩和や円安基調もあり大幅に増加、コロナ禍前には3,000万人を超えるに至った。
- ・外国人旅行者の消費額は5兆円近くまで増加、観光消費額の20%近くを占めるなど国内観光産業の振興に貢献してきた。

【外国人旅行者数の推移】



【観光消費額の推移】

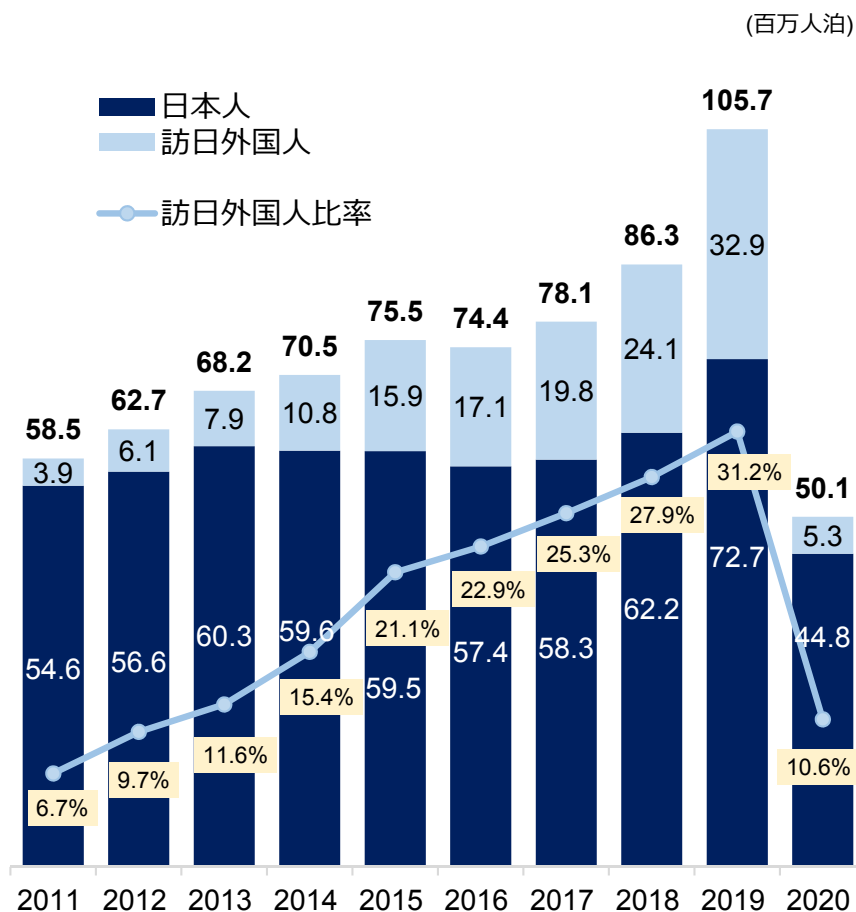


2-2

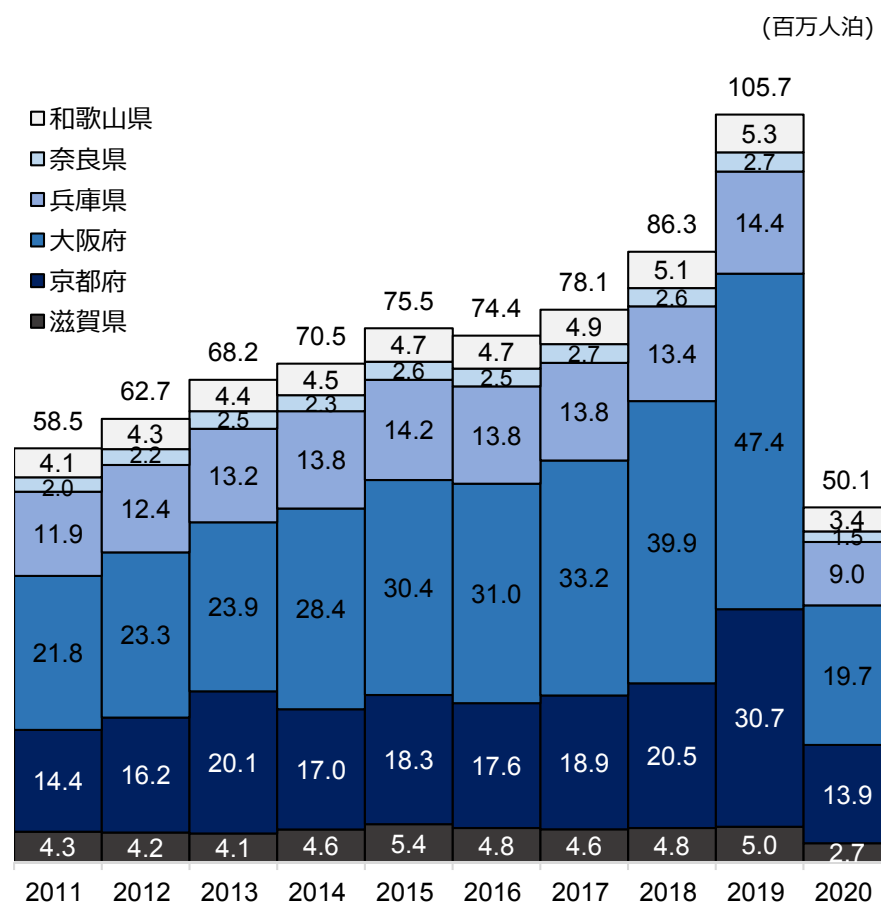
関西地域の外国人宿泊者数の推移

- ・訪日外国人旅行者の増加に伴い、関西地域の外国人宿泊者数も増加、2019年には3千万人泊を超え、日本人と合わせた延べ宿泊者数も初めて1億人泊に到達した。
- ・府県別には、2011年から2019年にかけて2倍以上に伸びた大阪、京都を中心に、二府四県全てで増加するなど、関西はインバウンド観光の恩恵を特に強く受けてきた地域といえる。

【関西の延べ宿泊者数（日本人/外国人）】



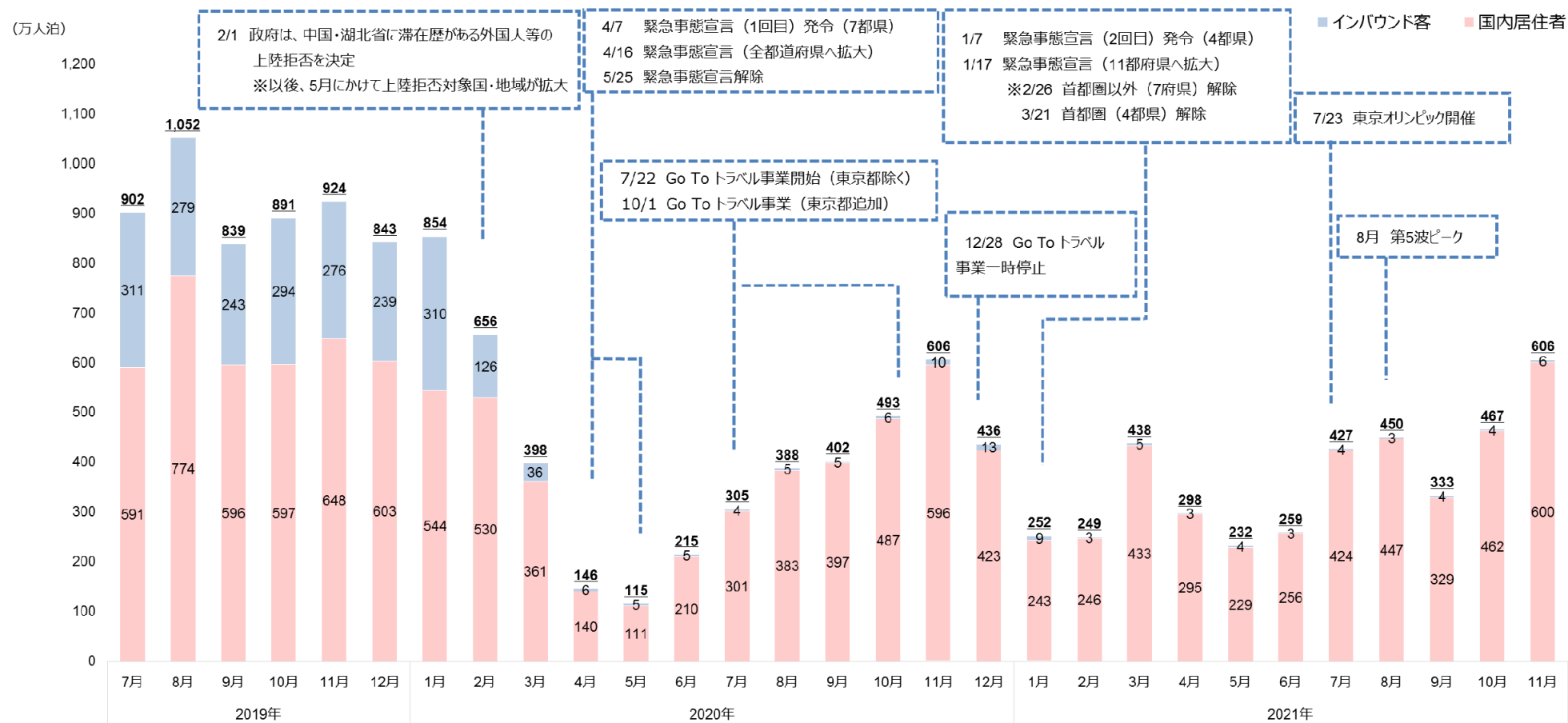
【関西の延べ宿泊者数（府県別）】



2-3

新型コロナ前後の関西宿泊者数

- ・ 関西の宿泊者数については、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020年4月以降は、外国人旅行者が激減するとともに、国内居住者についても緊急事態宣言の断続的な発令等により、コロナ禍以前と比較して大幅な減少を余儀なくされている。

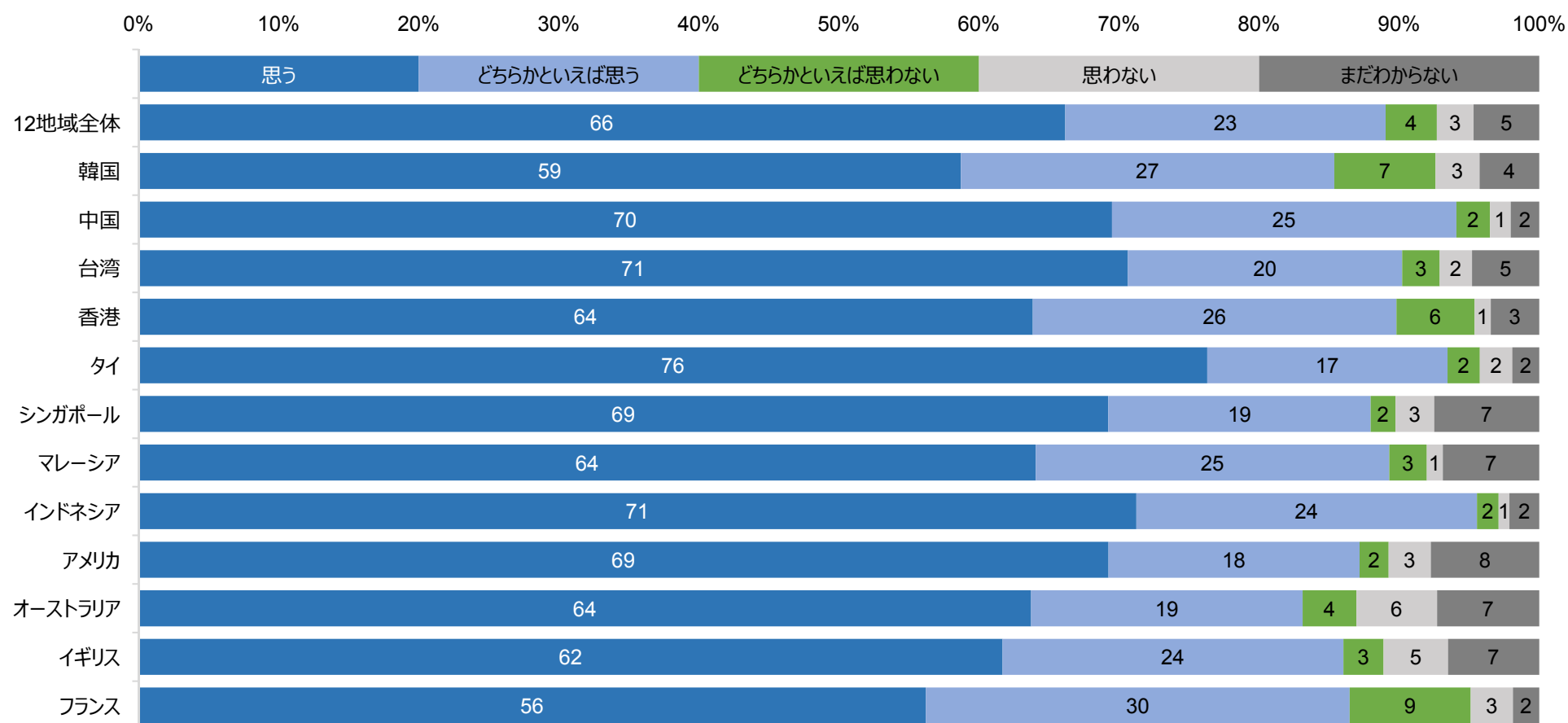


3-1

新型コロナの流行が収束し、平常状態に戻ったとき、また海外観光旅行をしたいと思いますか

・新型コロナ収束後の海外旅行については、したいと「思う」と回答した人の割合が全ての国・地域で50%を超え、「どちらかといえば思う」と合わせると大半の国・地域で90%程度に及ぶなど、**引き続き海外旅行への強い意欲が確認された。**

回答者全体 n=6,294 韓国 n=540、中国 n=541、台湾 n=521、香港 n=520、タイ n=519 シンガポール n=507、マレーシア n=523、インドネシア n=518、アメリカ n=530、オーストラリア n=521 イギリス n=522 フランス n=532 (回答はひとつ)



3-2

海外観光旅行をしたいと思う理由

- 海外旅行をしたいと思う理由については、「海外で体験したいことがある」、「リラックスや癒やしを得たい」、「海外旅行が好き」、「行きたい国・地域がある」といった回答が上位を占めた。
- 一方、「外出自粛などにより溜まったストレスを発散したい」、「新型コロナに打ち勝った自分や家族へのお祝い、ごほうび」、「外出自粛などにより、予算が増えそうだから」等の回答も一定割合あり、**コロナ収束後の旅行需要の反動増や所謂リベンジ消費の可能性も確認された。**

	12地域 全体	アジア	東アジア	韓国	中国	台湾	香港	東南 アジア	欧米豪 全体
n（関西訪問希望者）	2,542	2,006	1,049	187	285	307	270	957	536
海外で体験したいことがあるから（観光、食事、買い物、アクティビティ、文化など）	58%	60%	61%	48%	63%	68%	60%	59%	49%
リラックスや癒しを得たいから	54%	58%	61%	68%	42%	70%	64%	55%	39%
海外旅行が好きだから	53%	52%	56%	49%	54%	61%	57%	48%	58%
行きたい国・地域があるから	51%	51%	53%	46%	47%	65%	50%	49%	51%
外出自粛などにより溜まったストレス発散をしたいから	34%	36%	31%	22%	32%	35%	31%	42%	24%
ワクチンを接種したから	24%	24%	21%	21%	20%	25%	17%	27%	26%
新型コロナに打ち勝った自分や家族へのお祝い、ごほうびにしたいから	18%	19%	13%	11%	17%	9%	15%	25%	15%
親戚や知人に会いたいから	16%	14%	11%	10%	9%	9%	17%	17%	22%
外出自粛などにより、予算が増えそうだから（お金が貯まったから）	11%	10%	9%	6%	10%	8%	9%	12%	15%
コンサートやショー、スポーツの試合などを見に行きたいから	11%	10%	8%	4%	12%	6%	7%	13%	14%
新型コロナの影響で、働き方を見直したから（自由な時間が増えたから）	8%	8%	7%	4%	13%	6%	5%	9%	9%
海外でスポーツをしたり、体を動かしたいから	7%	8%	9%	9%	14%	6%	7%	7%	5%
特に理由はない／わからない	1%	1%	1%	1%	3%	0%	1%	1%	1%
その他	1%	1%	1%	1%	0%	0%	2%	1%	1%

3-3

海外観光旅行の検討を再開するタイミング

- ・海外旅行の検討再開のタイミングについては、前回調査に引き続き「渡航希望先の安全宣言後」、「WHOのパンデミック収束宣言後」、「抗ウィルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから」、「自国の出国制限措置の解除後」が上位を占め、**インバウンド観光の本格的な回復に向けては、政府や公的機関による安全宣言がポイント**となることが確認された。

(回答はあてはまるものを最大3つまで)

	12地域 全体	アジア	東アジア	韓国	中国	台湾	香港	東南 アジア	欧米豪全体
n (関西訪問希望者)	2,720	2,139	1,131	212	297	333	289	1,008	581
渡航希望先の安全宣言後 (入国制限・入国後の行動制限措置の解除を伴う)	38%	40%	38%	14%	44%	48%	37%	43%	29%
WHOのパンデミック収束宣言後	30%	34%	31%	34%	35%	32%	26%	36%	17%
自国の出国制限措置の解除後	27%	30%	34%	13%	41%	35%	40%	25%	19%
抗ウィルス薬の開発など、新型コロナの脅威が消滅してから	27%	28%	27%	22%	35%	29%	20%	30%	21%
ワクチン接種が2回以上済んでから	21%	22%	26%	23%	21%	39%	17%	19%	14%
航空路線が再開されてから	16%	16%	11%	11%	10%	6%	18%	21%	15%
海外旅行ツアーの再開後	15%	15%	18%	18%	11%	18%	23%	13%	12%
パンデミックにより減少した自身または家族の仕事・収入が回復してから	12%	13%	9%	9%	13%	10%	5%	16%	11%
メディアによって海外旅行の再開が報道されるようになってから	9%	9%	8%	8%	10%	5%	7%	10%	9%
流行が収束しても、当面の間 (2～3年) は海外旅行は難しいと思う	8%	8%	8%	13%	3%	9%	8%	8%	8%
知人や周囲の人が海外旅行に行き始めたタイミング	7%	8%	8%	14%	12%	5%	5%	7%	6%
すでに検討を始めている	5%	3%	3%	2%	5%	2%	3%	3%	12%
SNSで海外旅行に関する投稿を見るようになってから	4%	3%	3%	4%	4%	2%	2%	4%	7%
現在の状況からは海外旅行の検討再開は考えられない	4%	4%	4%	8%	2%	2%	5%	4%	3%
クルーズ船の就航が再開されてから	4%	3%	3%	0%	4%	2%	3%	4%	5%
1回目のワクチン接種が済んでから	2%	2%	2%	1%	3%	2%	2%	2%	3%
わからない	2%	2%	2%	3%	0%	2%	4%	1%	5%

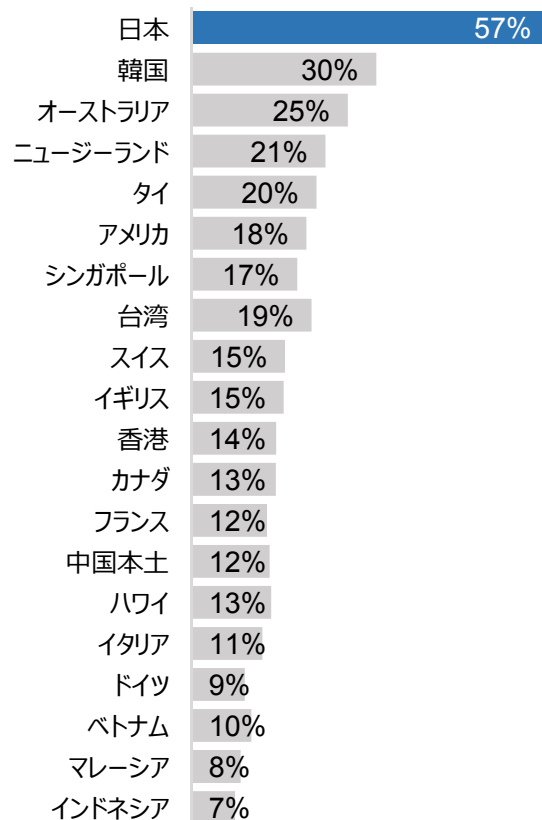
3-4

①観光旅行したい国・地域 ②行ってみたい観光地 ③行ったことがある観光地

- ・観光旅行したい国・地域については、**前回調査に引き続き日本が1位**を獲得。
- ・行ってみたい観光地については、大阪、京都、神戸、奈良が上位にランクイン。
- ・また、行ったことがある観光地については、大阪、京都が東京に次いで2位、3位を獲得。奈良、神戸も上位10位内に入り、**関西は観光地として高い人気を維持**していることが確認された。

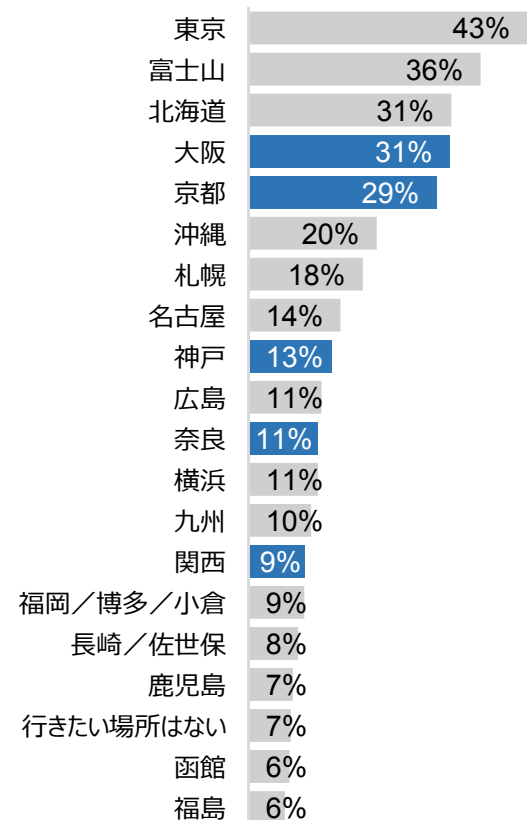
【①観光旅行したい国・地域 上位20項目】

(最大5つまで。n=5,901)



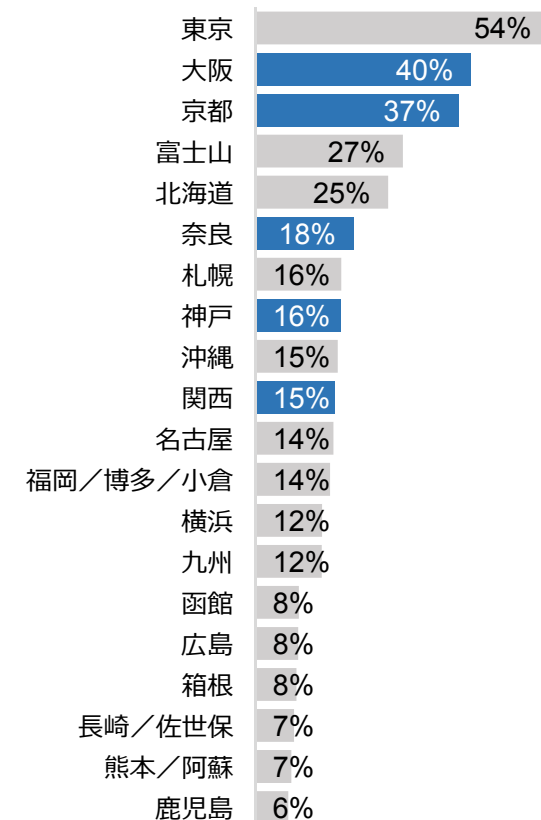
【②日本で行ってみたい観光地* 上位20項目】

(回答はあてはまるものすべて) n=5,812)



【③日本で行ったことがある観光地** 上位20項目】

(回答はあてはまるものすべて。n=2,891)



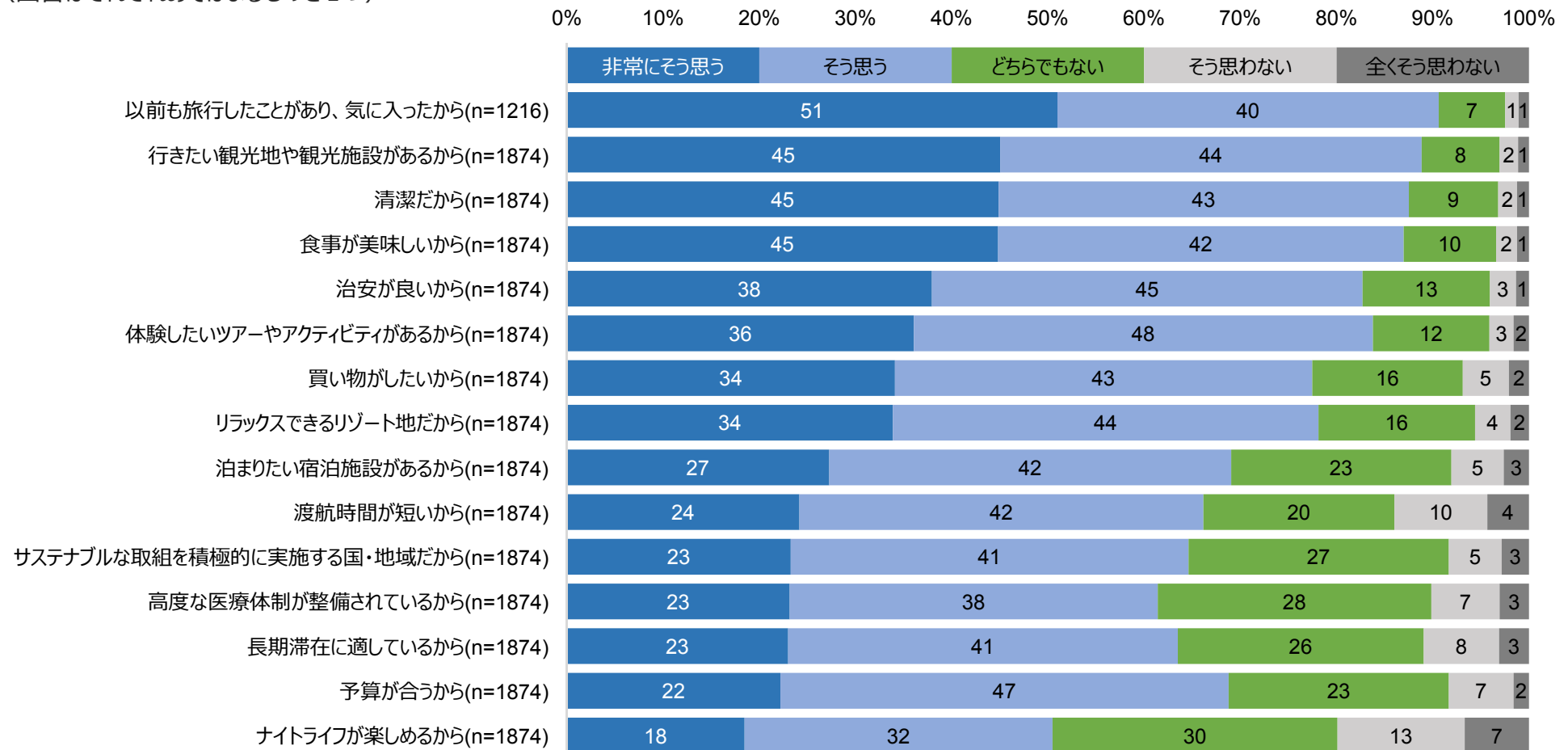
*「②日本で行ってみたい観光地」、**「③日本で行ったことがある観光地」の設問に対する選択肢(63個)のうち、関西地域の選択肢は「紀伊半島/高野山/熊野古道」「関西」「京都」「奈良」「大阪」「神戸」の6項目。

3-5

訪日観光を希望する理由

- ・ 関西訪問希望者が訪日観光を希望する理由については、**リピーターの高い満足度や、歴史・伝統をはじめとした魅力ある観光コンテンツの存在、清潔さ、食事などが支持されている**ことがわかった。
- ・ 一方で、予算や長期滞在、ナイトライフという点においては、ポジティブな回答の割合が相対的に低く、今後こういった分野への対応を進めることでより多様な旅行者の誘致につながる可能性がある。

(回答はそれぞれあてはまるものを1つ)

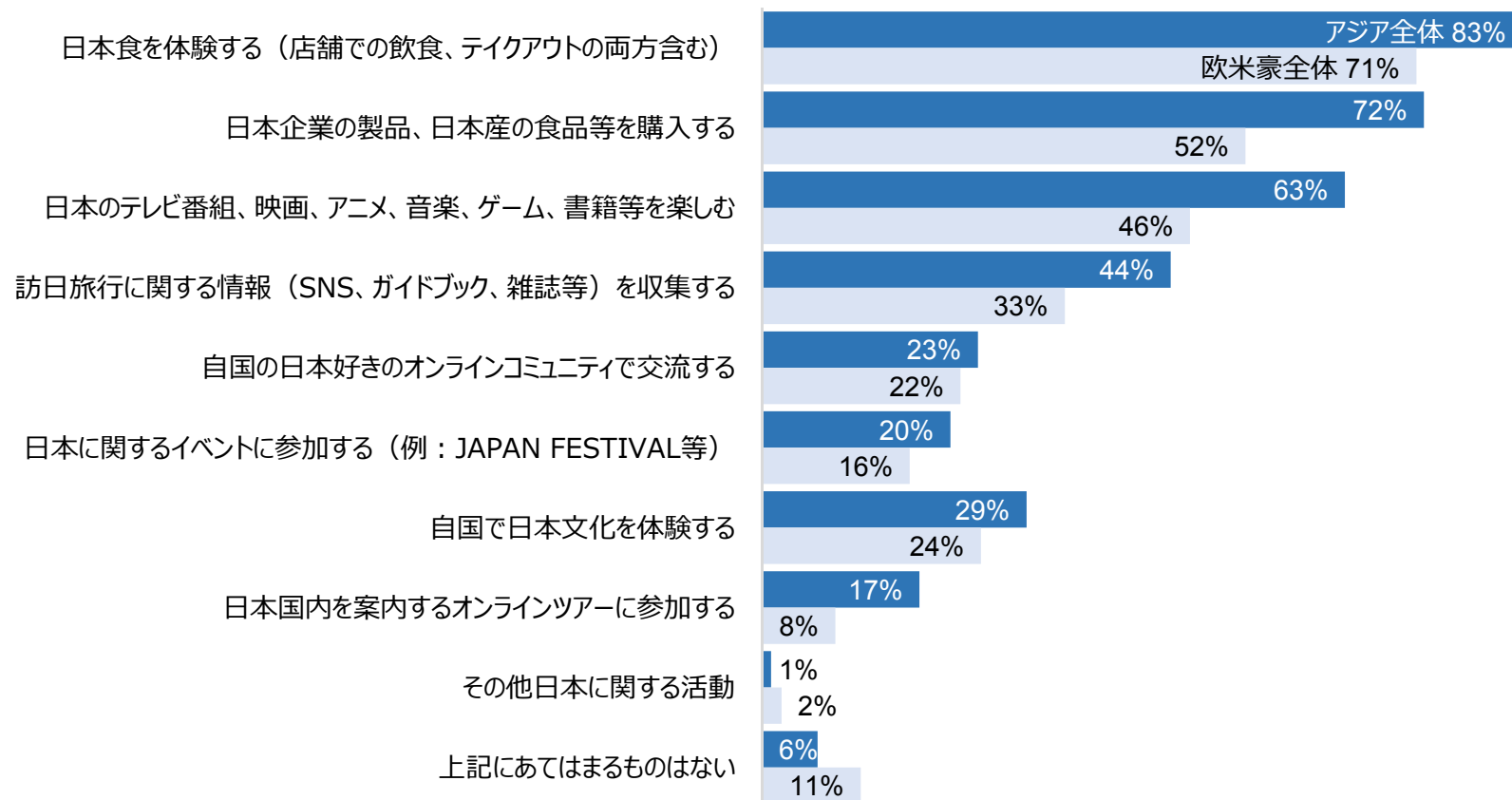


3-6

今年、自国で実施した日本に関する活動について

- ・コロナ禍で海外旅行が難しい中で、自国で実施した日本に関する活動については、**日本食や日本企業の製品、アニメ・音楽等のソフトコンテンツがアジアを中心に高い実施率**となった。
- ・また、オンラインコミュニティでの交流やオンラインツアーへの参加等についても1～2割が実施していると回答しており、**コロナ収束後のインバウンド観光の回復に向けては、オンラインを活用した情報発信や人同士のつながりを作っていくことが重要**と考えられる。

(回答はあてはまるもの全て。アジア全体 n=2,139 欧米豪全体 n=581)

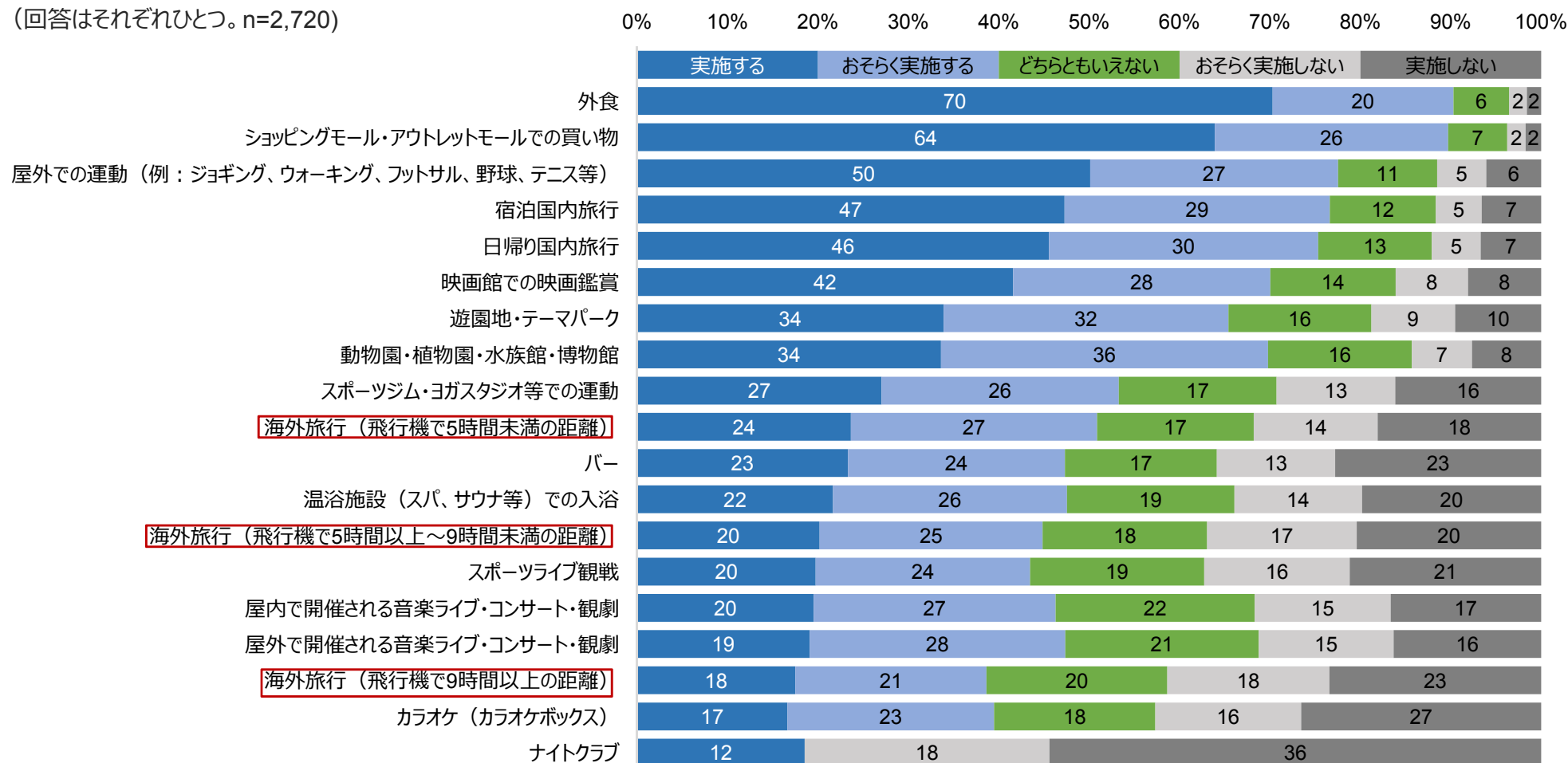


3-7

今後6カ月の間に実施するであろうレジャー全般

- 今後6ヶ月間の間に実施するレジャーを問うた質問において、旅行に関しては、**宿泊国内旅行、日帰り国内旅行については「実施する」、「おそらく実施する」の割合が8割程度と高い意欲が確認**された一方、**海外旅行については、同割合は相対的に低く**、かつ、飛行機で5時間未満の距離など、**地理的に近いところから検討したいという意向が確認**された。

(回答はそれぞれひとつ。n=2,720)

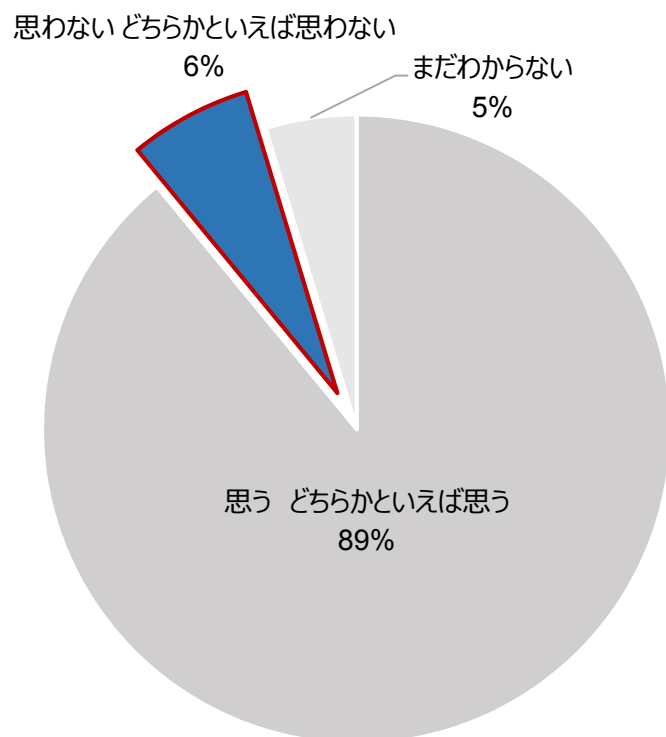


3-8

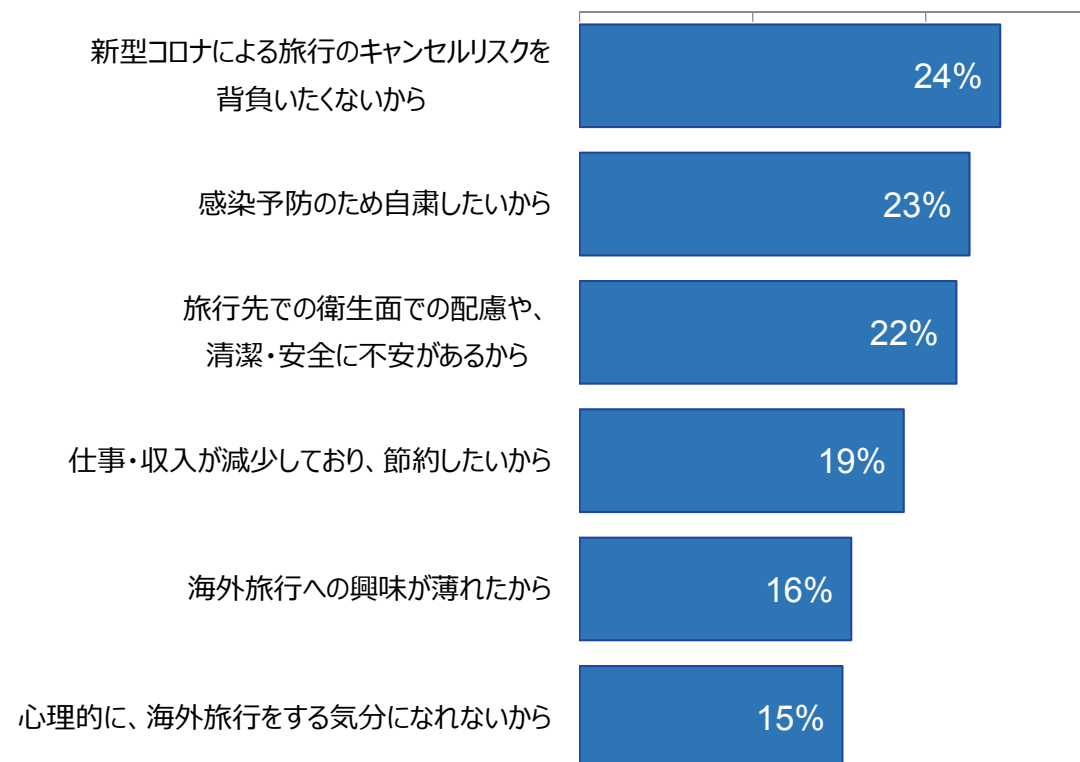
新型コロナ流行の収束後においても、海外観光旅行をしたくない理由

- ・前述の通り、コロナ禍においても引き続き海外旅行への高い意欲が確認されたところではあるが、**コロナ禍の収束後、海外旅行をしたいと思わない、まだわからないという回答も合わせて約 1 割確認**された。
- ・その理由については、旅行のキャンセルリスクや感染へ不安の他、仕事や収入の減少という経済的理由、海外旅行への関心が薄れたという心理面の変化も確認されるなど、**コロナ禍の長期化による経済的・心理的な影響にも留意が必要**である。

【海外旅行をしたいと思うか（回答はひとつ n=6,294）】



【海外旅行をしたくない理由（回答はあてはまるもの全て 上位6項目 n=395）】

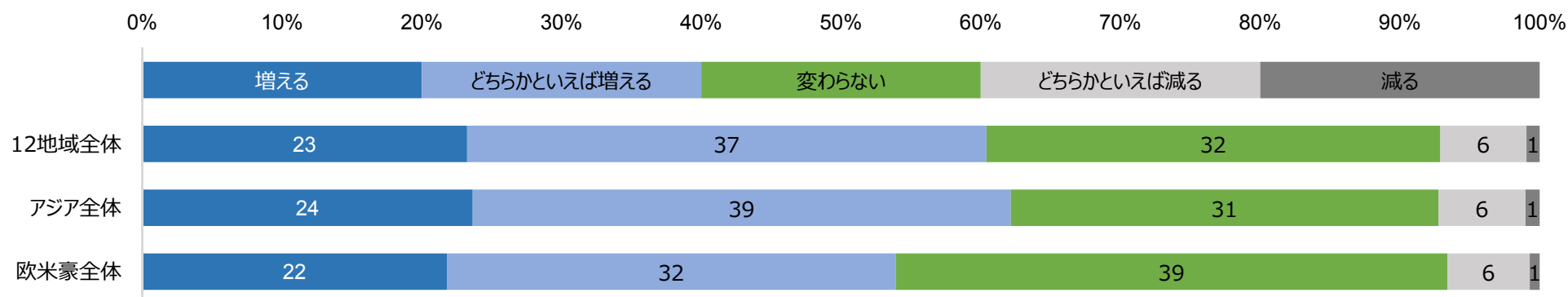


3-9

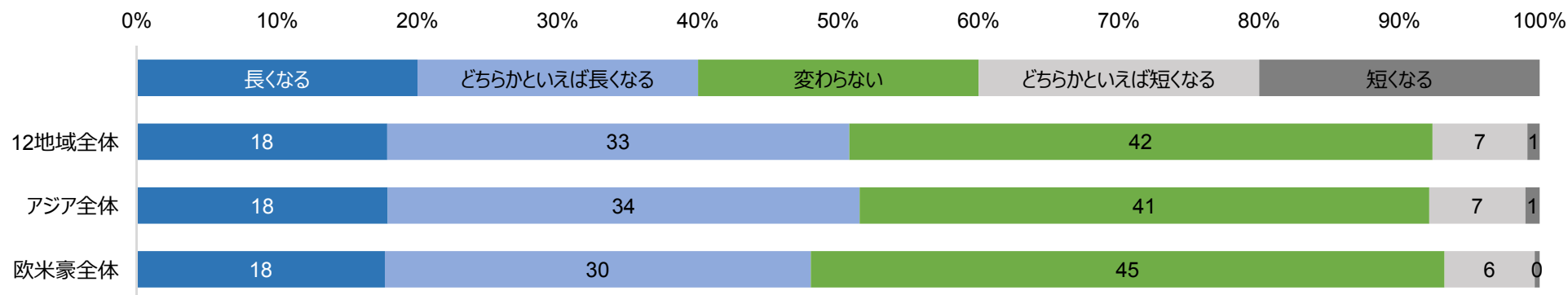
予算及び滞在日数の変化

- ・関西訪問希望者における**次回の海外観光旅行における予算**については、**アジア・欧米豪ともに半数以上の回答者が「増える」もしくは「どちらかといえば増える」と回答した。**
- ・同様に、**滞在日数についてもアジア・欧米豪ともに半数近くの回答者が「長くなる」もしくは「どちらかといえば長くなる」と回答した。**
- ・コロナ禍により海外旅行が制限される中、所謂「リベンジ消費」意欲や、海外旅行の「特別感」の高まりが背景にあると推測される。

【予算の変化(n=2,629)】



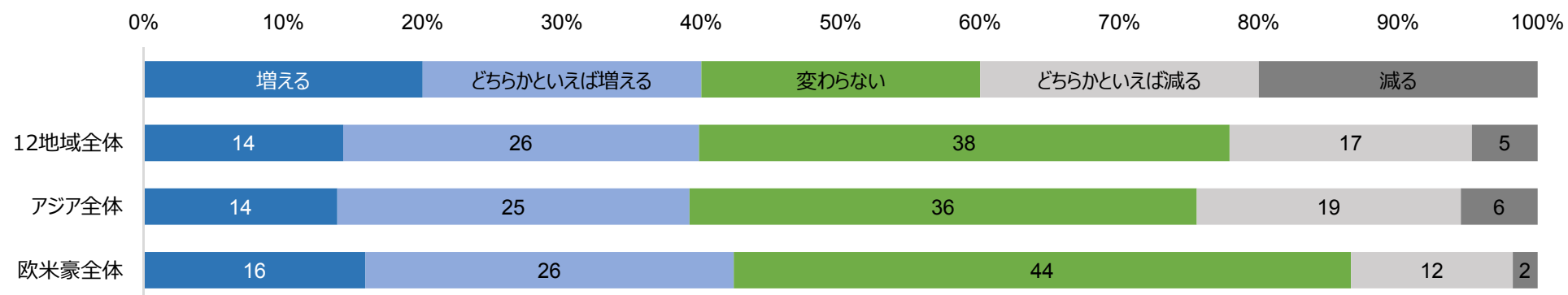
【滞在日数の変化(n=2,629)】



3-10 頻度の変化

・ 関西訪問希望者の**コロナ収束後の海外観光旅行の頻度**については、**アジア・欧米豪ともに約 4 割の回答者が「増える」もしくは「どちらかといえば増える」と回答**しており、引き続き海外旅行への人々の強い意欲が確認された。

【頻度の変化(n=2,629)】

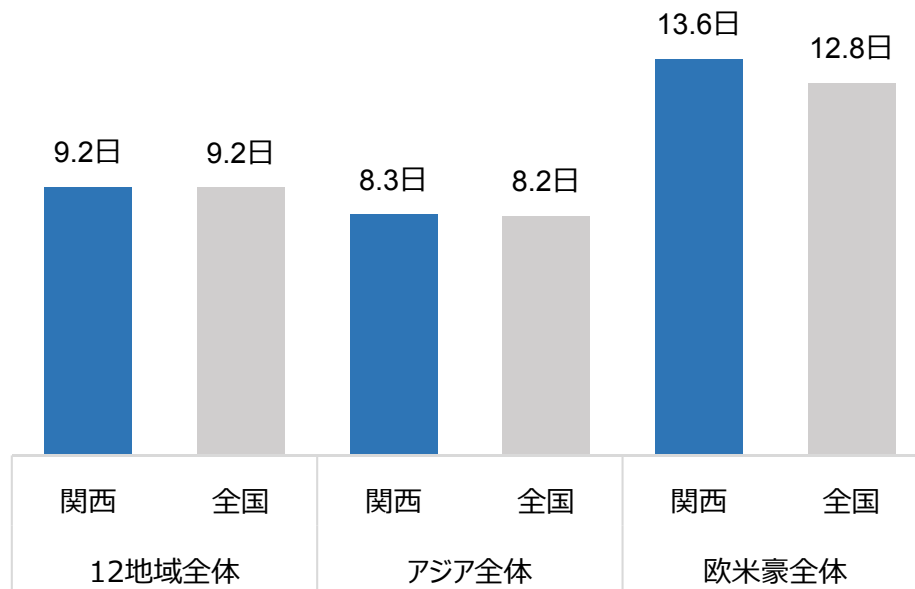


3-11

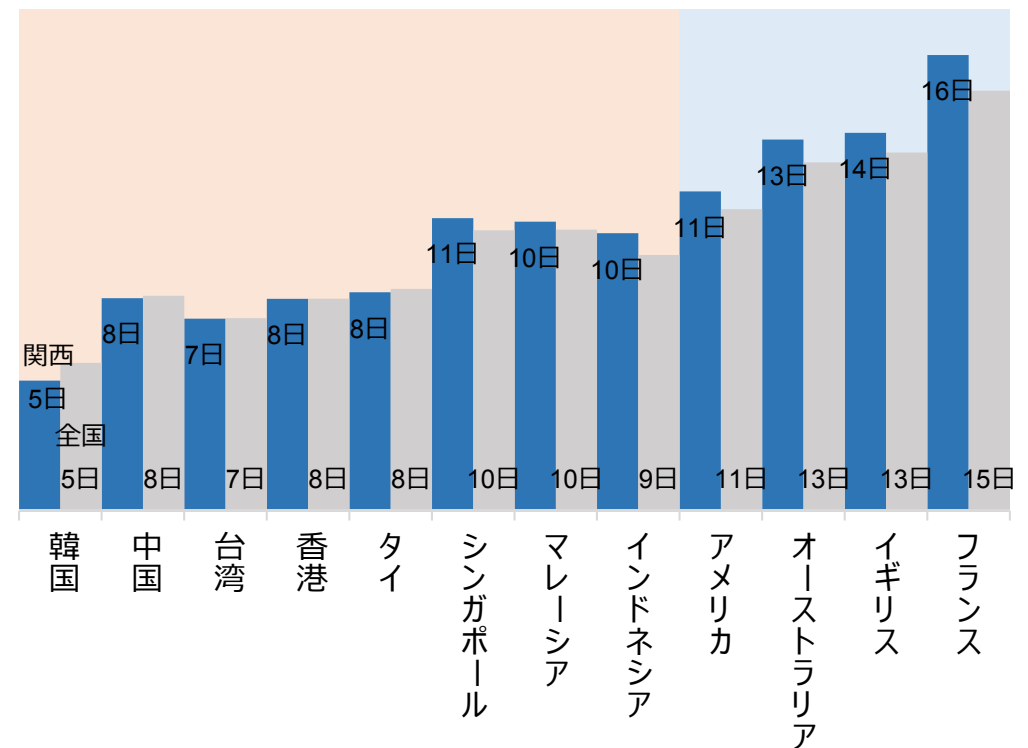
訪日観光旅行における滞在日数

- ・訪日観光旅行において希望する滞在日数については、アジアが約8日、欧米豪が約13日であり、**日本までの距離によって滞在期間が異なる傾向が確認**された。
- ・また、アジアの中でも韓国は約5日であるのに対してマレーシアやインドネシアは約10日と国により傾向にバラツキがある。欧米豪は比較的バラツキが小さいものの、アメリカとフランスでは5日程度の開きがある結果となった。

【希望する滞在日数】



【希望する滞在日数（国・地域別）】



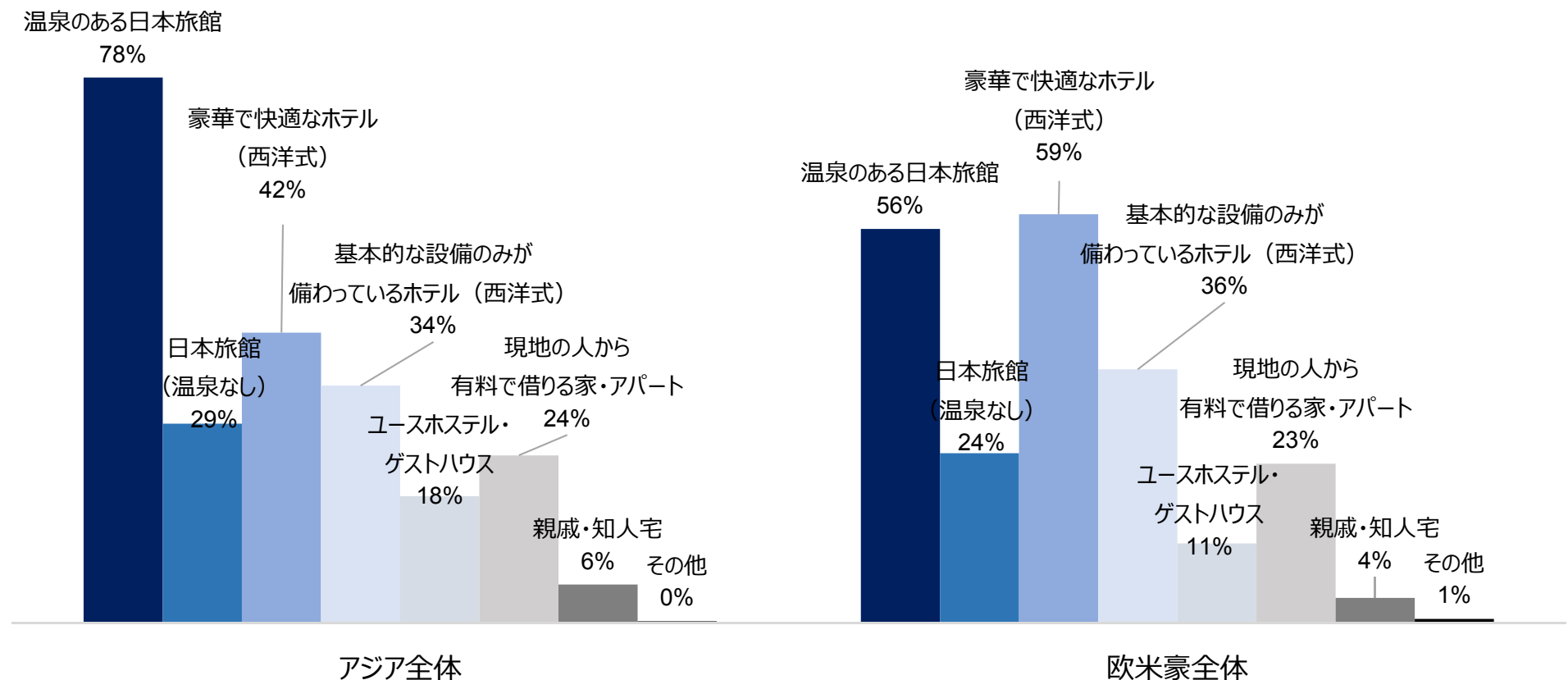
※関西：関西訪問希望者(n=1,874)、全国：訪日希望者全体(n=3,372)

3-12

訪日観光旅行における宿泊施設

- ・訪日観光旅行において希望する宿泊施設については、**アジアにおいては温泉のある日本旅館の人気の高い一方で、欧米豪では西洋式の豪華で快適なホテルの人気の高い。**
- ・アジア、欧米豪ともに日本旅館、西洋式のホテルのみならず、ユースホステル・ゲストハウスや現地の人から借りる家・アパートといった民泊的なものまで、**幅広いニーズがあることが確認され、各観光地でも多様な宿泊ニーズに応える宿泊施設の整備が重要**である。

(回答はあてはまるもの全て アジア全体 n=1,541 欧米豪全体 n=333)

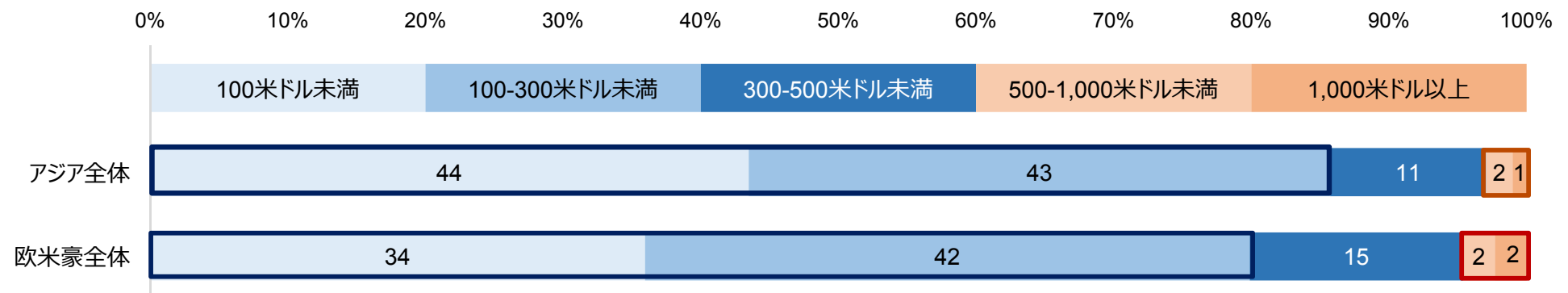


3-13

訪日観光旅行における宿泊費①

- ・ 関西訪問希望者の訪日観光旅行における**一泊あたりの宿泊予算については、アジアは100ドル未満が44%、100ドル以上300ドル未満が43%であり、合計では9割近くを占める結果**となった。
- ・ **欧米豪については、アジアと比較して多少予算が大きいものの、一泊あたり300ドル未満との回答が8割近くを占めた。**
- ・ 一方で、**一泊あたり500ドル以上を支払う富裕層も3~4%程度おり、今後はこうした層を増やしていくことも重要**と考えられる。

【宿泊施設全体（アジア全体 n=3,403 欧米豪全体n=637）】



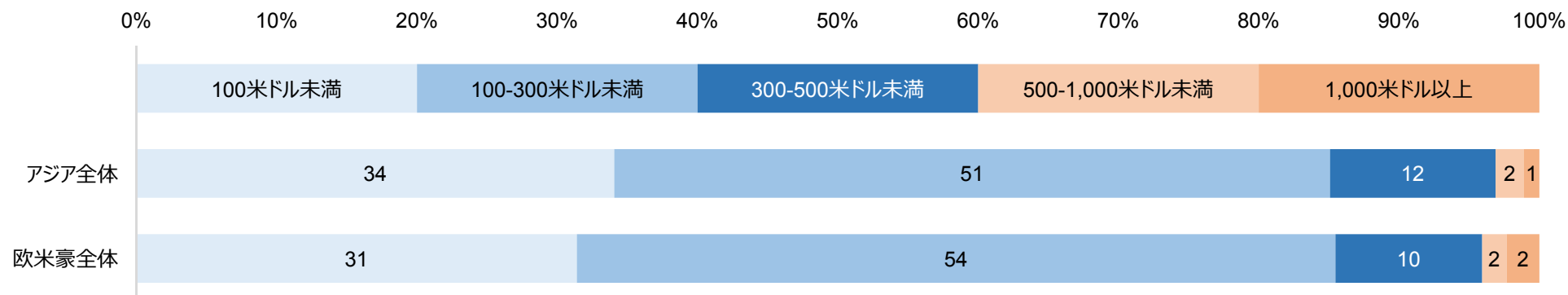
- ・ 本ページに掲載している結果は「訪日観光旅行するとしたら、支払ってもよい宿泊費」の回答のうち「わからない/答えたくない」を除いて集計したものである。
- ・ 宿泊施設全体の対象施設は、温泉のある日本旅館、日本旅館（温泉なし）、豪華で快適なホテル（西洋式）、基本的な設備が備わっているホテル（西洋式）、ユースホステル・ゲストハウス、現地の人から有料で借りる家・アパートを指す。上の表は宿泊施設毎にそれぞれに支払ってもよい宿泊費の価格帯の回答人数を合計し、割合で示したものである。

3-13

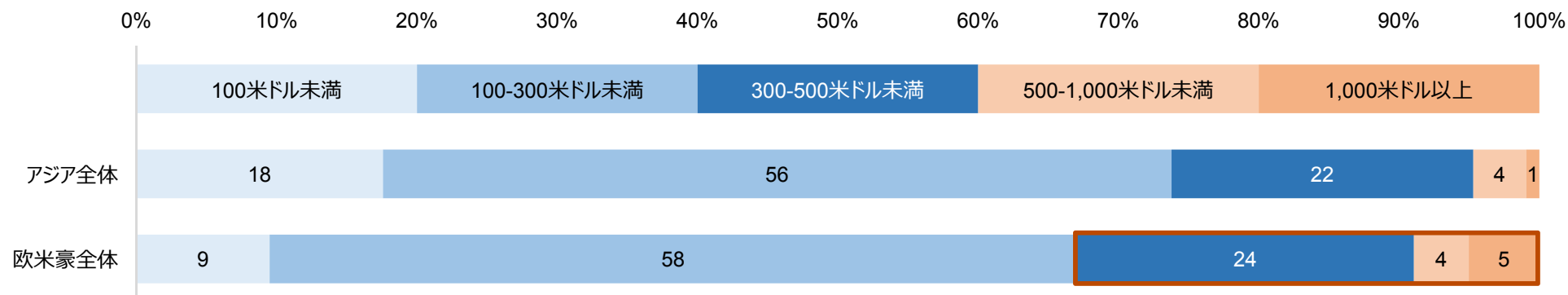
訪日観光旅行における宿泊費②

- ・関西訪問希望者に特に人気の高かった温泉付き日本旅館と豪華で快適な西洋式ホテルを宿泊予算で比較すると、アジア、欧米豪ともに西洋式ホテルにより大きな金額を支払う意向があることがわかった。
- ・温泉付き日本旅館には多様な施設があり一概には言えないものの、温泉自体は訪日外国人旅行者に高い人気がある一方、宿泊施設の具体的なイメージに関しては浸透していない可能性が高く、食事やサービス等に関する適切な情報発信を通じて更なる需要を取り込める余地があると考えられる。

【温泉付き日本旅館(アジア全体n=1,186 欧米豪全体n=172)】



【豪華で快適なホテル(アジア全体n=637 欧米豪全体n=179)】



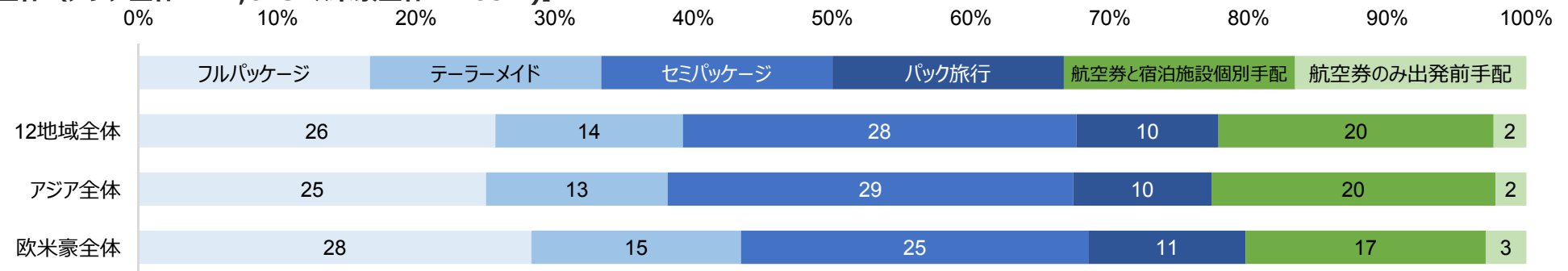
※本ページに掲載している結果は、「訪日観光旅行するとしたら、支払ってもよい宿泊費」の回答のうち「わからない/答えたくない」を除いて集計したものである。

3-14

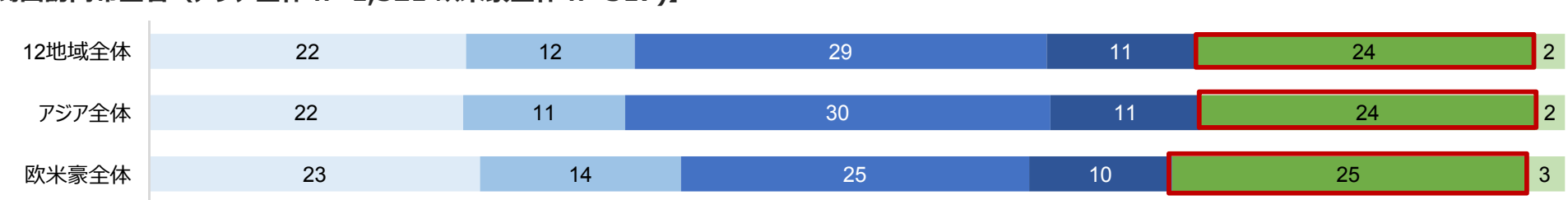
訪日観光旅行における旅行形態

- ・訪日旅行において希望する旅行形態については、旅行の訪日旅行経験の有無や趣向、収入等により異なるものと考えられ、幅広い形態が選択されたが、フルパックやセミパッケージの人气が相対的に高い結果となった。
- ・関西訪問希望者については、全国との比較では相対的にフルパックの割合が低く、航空券と宿泊施設の個別手配の割合が高い結果となった。背景としては、リピーターの増加に伴い、より自由な旅行形態を選択する層が増えているためと考えられる。

【全体（アジア全体 n=2,613 欧米豪全体 n=682）】



【関西訪問希望者（アジア全体 n=1,521 欧米豪全体 n=317）】



フルパッケージ	航空券と宿泊施設がセットになったパック旅行に食事・観光・添乗員や現地ガイドが含まれているもの
テラーメイド	自身の嗜好によるガイド付きテラーメイドツアー
セミパッケージ	航空券、宿泊施設、移動、食事、観光等について、複数の選択肢から選択し、自由に組み合わせることができるツアー（セミパッケージツアー）
パック旅行	航空券と宿泊施設のみがセットになったパック旅行
航空券と宿泊施設個別手配	航空券と宿泊施設を個別に手配
航空券のみ出発前手配	航空券のみを出発前に手配（宿泊先は現地で手配）

※本ページに掲載している結果は「訪日観光旅行をしたら、旅行形態の希望」の回答のうち、「その他」「わからない」を除いて集計したものである。

3-15

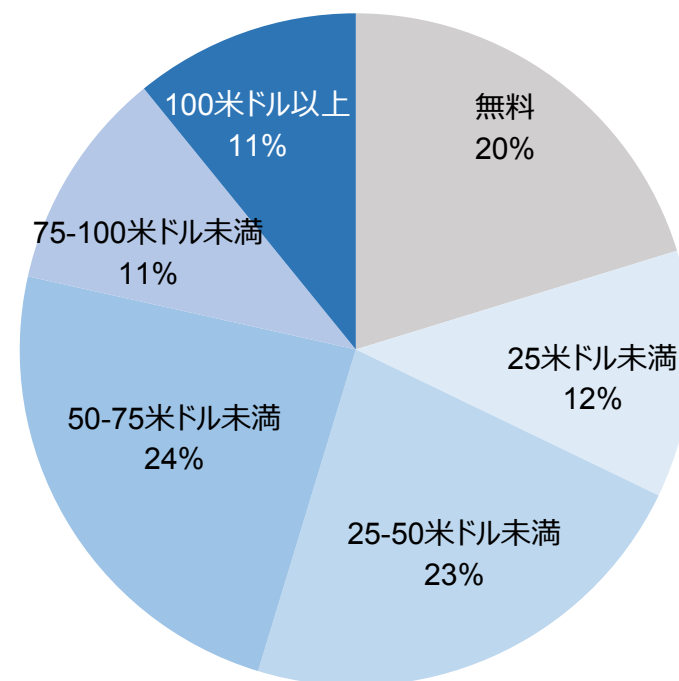
参加したオンラインツアーの良かった点・参加したツアーの価格帯

- ・コロナ禍で広がりつつある**オンラインツアーについては、関西訪問希望者の約2割が参加経験**を有している（2,720人中479人）。
- ・参加して良かった点については、その場にいるような臨場感や、通常は見学できないエリアの見学が可能である点、歴史や文化について詳細に知ることができる点や費用の安さ、時間の節約など、幅広い要素が評価されており、**利用者の多様なニーズを捉えている**ことが伺える。
- ・ツアーの価格については、無料から100米ドル以上まで広く分布しているが、**25～75ドルの価格帯が約半数**を占めている。

【参加したオンラインツアーの良かった点（オンラインツアー参加者）】
（最もあてはまるものを3つ）

	12地域全体	アジア全体	欧米豪全体
n	479	395	84
その場所にいるような臨場感を楽しめたこと	29	29	27
地域の自然や風景を楽しむことができたこと	27	28	23
自然や文化財保護に関する規制等により、入場（入域）が難しいエリアを見学できたこと	27	27	27
地域の文化や歴史を詳しく知ることができたこと	26	27	23
実際の旅行より費用が安く済んだこと	24	26	18
地域の町並みを楽しむことができたこと	24	27	12
実際に旅行に行くよりも短時間で済んだこと	21	22	14
地元の人しか知らない楽しみ方や魅力を知ることが出来たこと	20	20	19
買い物を楽しめたこと	14	12	20
自分の体調等（ハンディキャップ、高齢含む）により、実施が困難な旅行を体験できたこと	13	12	19
（事前に送付された現地の特産品（食材等）により）食を楽しめたこと	13	13	15

【参加したオンラインツアーの価格帯（オンラインツアー参加者）】



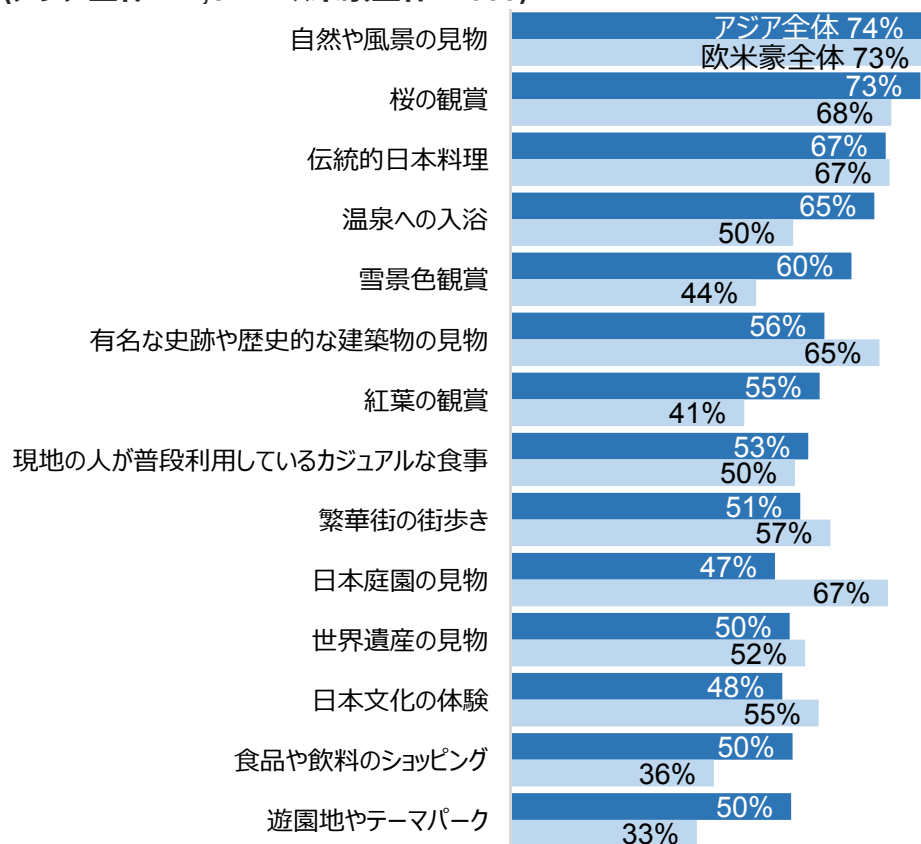
3-16

訪日観光旅行で体験したいこと、実施してみたい旅行

- ・関西訪問希望者が今後の訪日旅行において体験したいこととしては、アジア、欧米豪ともに「自然や風景の見物」、「桜の観賞」、「伝統的日本料理」が上位を占めた。その他については、アジアは「温泉への入浴」や「雪景色鑑賞」の人気の高い一方、欧米豪は「有名な史跡や歴史的建築物の見学」、「日本庭園の見物」の人気の高いなど、地域による違いも見られる。
- ・また、今後実施してみたい旅行については、「アウトドアアクティビティ」や「グランピング」など密を回避した旅行形態への関心の高まりが確認されたほか、「ステイケーション」や「マイクロツーリズム」など、近場の旅行需要の高まりも確認された。

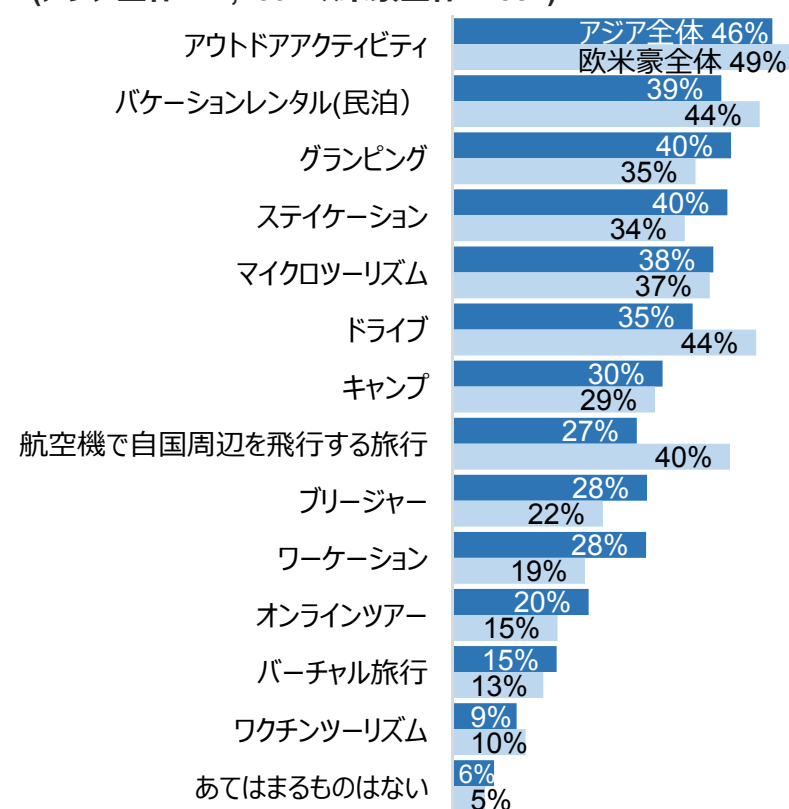
【訪日旅行で体験したいこと（回答はあてはまるものすべて）】

（アジア全体n=1,541 欧米豪全体n=333）



【今後実施してみたい旅行（回答はあてはまるものすべて）】

（アジア全体n=2,139 欧米豪全体n=581）



アウトドアアクティビティ	カヌー、ラフティング、乗馬等、自然の中で楽しむスポーツ・体験活動
バケーションレンタル(民泊)	1 軒を貸切ったの宿泊
グランピング	あらかじめキャンプ用品や食材・食事が用意されている施設で高級なキャンプの雰囲気を楽しむ活動
ステイケーション	近場のホテルでの滞在
マイクロツーリズム	自宅から片道 2 時間圏内の地元または近隣地域を訪れる宿泊旅行や日帰り旅行
キャンプ	グランピング以外のキャンプ
航空機で自国周辺を飛行する旅行	飛行機で自国周辺を旋回し、どこにも着陸せず、出発地に戻る遊覧飛行
ブリージャー	業務での出張の際に旅行日数を延長して、業務の前後の休暇で楽しむ旅行
ワーケーション	テレワークの活用等により、リゾート地や地方等の普段の職場と異なる場所で仕事しながら休暇取得等も行う旅行
オンラインツアー	観光地を実際に訪れなくても自宅にいながらオンラインで現地の案内を受ける旅行
バーチャル旅行	バーチャルリアリティ(VR)技術を駆使した旅行
ワクチンツーリズム	ワクチン接種目的とした旅行

© Development Bank of Japan Inc.2022

本資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、取引等を勧誘するものではありません。本資料は当行が信頼に足ると判断した情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性・確実性を保証するものではありません。本資料のご利用に際しましては、ご自身のご判断でなされますようお願い致します。本資料は著作物であり、著作権法に基づき保護されています。本資料の全文または一部を転載・複製する際は、著作権者の許諾が必要ですので、当行までご連絡下さい。著作権法の定めに従い引用・転載・複製する際には、必ず、『出所：日本政策投資銀行』と明記して下さい。

（お問い合わせ先）

株式会社日本政策投資銀行 関西支店 企画調査課
〒541-0042 大阪府中央区今橋4-1-1 淀屋橋三井ビルディング13F
Tel : 06-4706-6455
E-mail : ksinfo@dbj.jp
HP : <http://www.dbj.jp/co/info/branchnews/kansai/index.html>